



# 五小だより

国立市立国立第五小学校

学校だより

No.8

令和5年(2023年)10月 31 日

## 秋から冬へ

校長 白鳥 聡

秋も終わりが近付き、夜の寒さが強まってきました。ちょうど1か月前、運動会に向けた練習中は暑さとの戦いでした。気温が高すぎて校庭で練習ができなかったり、暑さのために休み時間に外で遊ぶことができなかったりして、熱中症の心配をしながら毎日を過ごしていたのを思い出します。この1か月で一気に秋が深まり、いよいよ晩秋となりました。

暑さ・寒さだけでなく、日が暮れるのが早くなったことによって秋の終わりを感じます。昼と夜の時間がほぼ同じ長さであった9月の秋分の日を境に、徐々に日が暮れるのが早くなってきています。農業や林業といった戸外での仕事を中心であった昔は、今と違って街灯も少なかったので、日暮れとともに仕事を終え、すぐに家に入りました。そのため、家の中で過ごしている夜は、きっと今よりも長く感じられたのだらうと思います。「秋の夜長」という言葉は、そんな中から生まれてきた言葉なのです。家の中では、読書をしたり、家族で過ごしたりしてゆっくりと夜を楽しんだことでしょう。

現在も、日が暮れるのが早くなってきたことにより、夜が長くなったと覚えることが確かにあります。しかし、照明器具が発達し、街中ではいつまでも明るい状態を保てるようになったことで、外での活動が制限なくできるようになっています。早く家に帰って、家の中での生活を工夫することは少なくなった気がします。家に帰ると、電気機器が豊富で、電気を使って様々なことに取り組みます。便利になり、選択肢も豊富で、一人一人のニーズに合った活動ができる良さがあります。その分、家族みんなと一緒にという時間は減ってしまったのかもしれませんが、たまには、テレビやゲームのスイッチを切り、家族みんなで読書をしたり、話をしたりする時間を作ってみるのもよいかもしれません。

## 秋の行事『展覧会』

11月17日(金)・18日(土)の2日間、展覧会を実施します。体育館に子供たちの作品がたくさん展示されるので、ぜひ子供たちの思いを感じながら、力作をご鑑賞ください。子供たちは17日(金)と18日(土)午前中に鑑賞をします。保護者の皆様は18日(土)が鑑賞日となっております。18日の午前中は、子供たちが時間を区切って全クラスが鑑賞する予定です。お子さんの鑑賞時間と一緒にいければ一緒に鑑賞することも可能です。子供たちは4校時終了後下校となるので、午後はお子さんと一緒に体育館にお越しいただくことも可能です。多くの皆様のご来校をお待ちしております。